

緑茶カテキンの新型コロナウイルス抑制の可能性を検討

新型コロナウイルス感染症は、第4波が襲来し、その収束の見通しがたっていない。

一方、緑茶には抗ウイルス作用を持つとされる茶カテキンが含まれ、新型コロナウイルスに対しても効果があるのではないかと期待されています。

当所では京都大学ウイルス・再生医科学研究所と共同で、茶カテキンの新型コロナウイルスへの効果試験を行ってきました。また、国内では複数の医学系大学で、同様な研究が行われており、少しずつ成果が出始めています。

そこで、国内で茶カテキンの新型コロナウイルス感染抑制効果を研究中の先生方をお招きして、「緑茶と健康シンポジウム」をZoom配信しました。視聴者は国内外から700名におよびました。

ディスカッションでは、茶カテキンは治療薬ではないが、口腔内のウイルスの活性を低下させる可能性があることから、多くの国民が緑茶を飲むことで、集団での感染を抑制する公衆衛生的な使い方が出来るのではないかと提案もありました。



パネルディスカッションのZoom配信の様子
(リモート参加者らは飛沫感染防止のうえ、マスクを外していません)

農林センター（茶業研究所）